

「今月の1枚」



キブシ（キブシ属） *Stachyurus praecox*

落葉低木～小高木。雑木林や林縁、林道沿いなどでよく見かける。

普通に低地から標高1000mの山地まで生える。春先早く穂のような黄色い花が垂れて咲き、房状の花がフジの花に似ていることから「キフジ（黄藤）」の別名がある。

和名は木五倍子（きふし）で、実に多くのタンニンを含むことから、おはぐろの材料となる五倍子（ふし）の代用品として用いていたらしい。雌雄異種で写真のものは雌花か？

（写真、文 奥田史郎 2009年4月17日 高知県吾川郡いの町にて撮影）

（No.188 2009. 6. 3 掲載）